



笠間市議会議長
藤枝 浩 様

請願第27-10号

(1/4)

平成27年8月24日



紹介議員


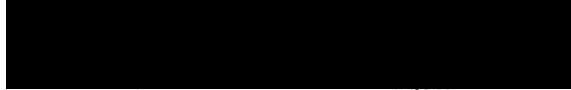
蛭澤 幸一 

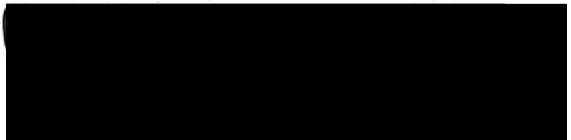
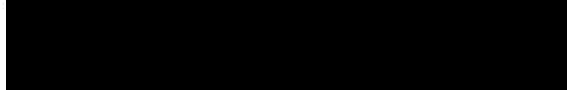
田村 泰之 

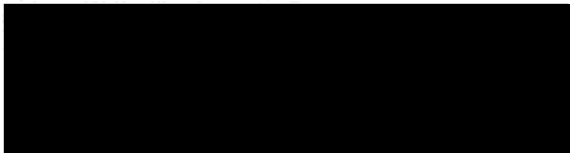
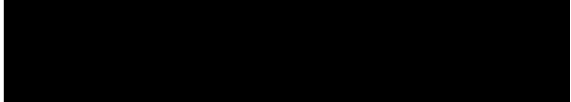
大関 久義 



(請願者)

(全日本軟式野球連盟・評議員) 住所: 
氏名: 

(一般財団法人・茨城県高校野球連盟・会長) 住所: 
氏名: 

(笠間市体育協会・会長) 住所: 
氏名: 

(笠間市軟式野球連盟・会長) 住所: 
氏名: 

(笠間市発展を願う市民) 住所: 
氏名: 

「笠間市民球場・スコアボードの電光掲示板化改修」に関する請願書

1 請願の趣旨

1) 笠間市民球場の現状について

(1) 県内の主要球場としての役割

笠間市民球場は茨城県高校野球連盟の県大会主要球場になっており、夏の県大会18試合を初め、年間29試合行われる等重要な位置づけとなっている。

全体としては、学童野球、中学野球、高校野球、社会人野球(東日本軟式野球大会他)迄、幅広く運用されている。

(2) にぎわい創生の貴重な地域資源 (添付資料1参照)

笠間市民球場は県内の多くの高校生及び、父兄、野球ファンに対しての魅力発信基地(夏の大会は3000人以上の賑わい)ともなっており、笠間市の「にぎわい創生の貴重な地域資源」となっている。今後、この地域資源を維持拡張していくため、スコアボードの電光掲示板化が不可欠であり、これをベースに地方創生に結びつけることが重要です。

2) 第74回茨城国体での軟式野球・スコアボード対応状況

(1) 県内6都市、球場のスコアボード対応状況 (添付資料6～9参照)

笠間市民球場が県内軟式野球対応6球場の一つに決定した。

国体対応にあたり、スコアボードの電光掲示板化は日立市・水戸市が既整備済、土浦市・牛久市が国体対応で改修完了、高萩市が改修予定であり、残る笠間市だけが手動パネル式のスコアボード対応となっている。このままでは県内で、最も遅れた球場となってしまうことになる。

3) 笠間市民球場、スコアボードの課題

(1) 作業環境の課題

① 笠間は県内でもトップクラスの高気温の場所 (添付資料5参照)

笠間は県内トップクラスの高気温(35度以上)の多発地で、高校野球県大会(夏)では毎年、多数の応援の高校生が熱中症で病院に運ばれている。また、笠間市民球場のスコアボード内のパネル操作の作業員(高校生選手等数名が担当)は、蒸し風呂状態の中で必死に作業しているが、いつ病院に運ばれるか危険な作業環境で、危惧されている。(毎年笠間市民球場の熱中症発生ニュース、及びスコアボード内作業の危険度、記事参照)

② 危険な球場施設(スコアボード)の改修が不可欠 (添付資料4参照)

高校野球の他府県大会使用球場ではスコアボード作業員(生徒)の熱中症の危険から、電光掲示板化しない(危険回避できない)球場は使わない流れが出ており、未改修のままでは笠間市民球場が茨城県高校野球の主要球場から外れる危険性が出てきた。今を逃すと取り返しのつかないことになる。

(2) 競技施設としての運用課題

① スコアボードについて (添付資料9.6/7P参照)

スコアボードについては、野球場に設置される主要設備の一つであり、試合の進行情報を選手、観客をはじめとしたその場に居る人々に視覚的に知らせることを目的としている。また、電光掲示板化による選手名表示は選手のモチベーションが格段に上がり、試合の盛り上がりはワンランク高いものになると言われている。

② 笠間市民球場スコアボード

笠間市民球場のスコアボードはパネル方式であり、設計上はランニングスコアを初め、打順、選手名、守備位置、審判員の名前、試合結果等が表示できる等、パネル式としてはハイスペックとなっている。しかしながら、旧式で手動式のため、選手名、守備位置、審判員名前、試合結果等の試合進行情報表示ができない状況となっている。陳腐化した設備のため、折角の試合進行の情報が表示できない。

この旧式スコアボードに対して選手名表示等のできる電光掲示板化要望として、野球関係者、父兄、多くの野球ファンから強い要望が以前より出ている。(添付資料3参照)

(3) 国体対応課題

① 国体審査と対応

笠間市民球場の場合は事前の国体正規審査で、スコアボードも含め、現状のままでいくということで説明されたと伺っておりますが、過去の先進各県の実態を参考とすることも重要かと存じます。このままの設備で国体を行うということは過去の主要球場としてはごく稀であり、LED表示等大幅な技術改善された最近の国体対応例としては、例の少ない市の対応となってしまうことになる。

② 国体開催以後を見据えた対応が必要

笠間市民球場は、本来は国体を契機に施設の整備を行い、スポーツ振興、青少年の健全育成等、永続的に運用できる環境を作り、国体、高校野球県大会、国内大会、市内大会等、県内の主要球場としてゆるぎない位置づけの確保が重要なテーマではないでしょうか。

(4) 高校野球対応課題（笠間市民球場のスコアボード課題）

【一般財団法人・茨城県高校野球連盟様】（確認事項）

(1)	野球ファン、野球関係者からの投書・要望
①	笠間市民球場はスコアボードがパネル式で選手名の表示がでない、電光掲示板化されていない球場で試合を行う選手がかわいそうだ。
②	笠間は電光掲示板化していないのに、他球場と同じ入場料はおかしい。
③	笠間市民球場は早く、電光掲示板化して欲しい。
(2)	連盟としてのスタンス
①	手動式のスコアボードについては、作業者の熱中症回避及び、転落危険回避等の設備運用に於ける危険防止のための不可欠設備として改修が望ましい。
②	高校野球関係者、ファンからの要望への対応等を含め、他球場と同等のレベルで選手が試合のできる環境（電光掲示板化）が望ましい。

2 請願事項

以上の理由により、ここに「笠間市民球場・スコアボードの電光掲示板化・改修」について請願致します。